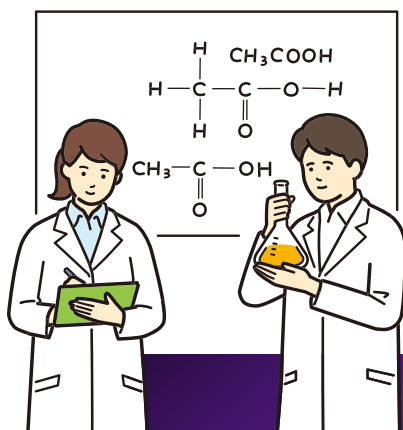




自分の専門や組織、
地域や世代を「越境」して
自分を磨き社会のニーズに対応できる
拡張型の博士人材を育成します！



山梨大学

“越境”による拡張型 博士人材の育成

山梨大学は、
国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) による
次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING) に採択され、
本プロジェクトを展開しています。

研究奨励費
(生活費相当額)

月額 **16.5** 万円

研究費

年額 **40** 万円



山梨大学“越境”による拡張型博士人材の育成プロジェクトとは？

概要

本プロジェクトは、専門や組織、地域や世代を“越境”して自分を磨き、「我が国の科学技術・イノベーション」の発展に寄与し、社会のニーズに対応できる拡張型の博士人材育成を目的としています。そのため、本プロジェクトに採用された学生には、研究に専念できる経済支援および多様なキャリアパスを可能にするカリキュラムを提供します。

本学博士課程で、既存の枠組みにとらわれない自由で挑戦的・融合的な研究を実施し、将来学術を担う優秀な学生の応募を期待しています。



選抜学生枠数	令和6年度（実績）	令和7年度（予定）	令和8年度（予定）
	29枠	32枠	32枠

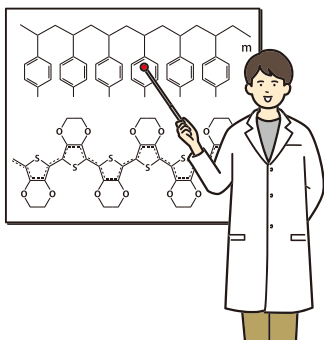
※令和9年度以降の枠数についてはHP (<https://www.gsemo.yamanashi.ac.jp/project/437>) をご確認ください。

＞ キャリアパス支援

博士後期課程学生に対して、キャリア開発・育成コンテンツ（国際性の涵養、学際性の涵養、トランスファラブルスキルの習得、インターンシップ等）を提供します。

キャリア開発・育成コンテンツは、博士後期課程学生に対して創発的な場を提供する等により、博士後期課程学生が将来、多様なキャリアにおいて活躍するために求められるコンピテンシー※を育成します。

※職務や役割における基礎的な能力や専門知識・技術、ノウハウなど、優秀な成果を発揮するための行動特性

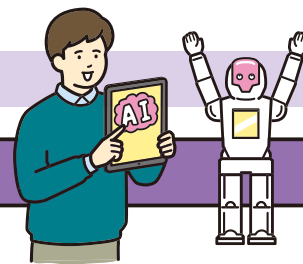


＞ 支援学生の義務

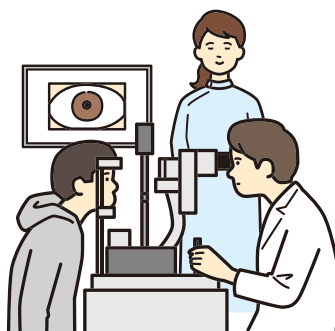
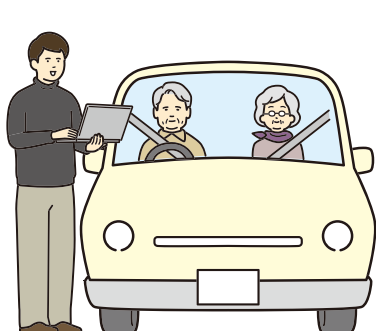
制度の趣旨に鑑み、以下の義務を負う。

- ① 支援学生に決定後、具体的な研究計画書を提出すること。
- ② 出産・育児に係る中断または傷病を理由とする中断の場合を除き、研究計画を踏まえた研究活動に専念すること。
- ③ 本学が実施する研究力向上、キャリア支援に関するプログラム等に積極的に参加すること。
- ④ ジョブ型研究インターンシップ推進協議会が実施する「ジョブ型研究インターンシップ」事業へエントリーすること。
- ⑤ 研究活動やキャリア支援に関するプログラムへの参加の状況を定期的に本学に報告すること。
- ⑥ メンターによる面談を定期的に受けること。
- ⑦ 日本学術振興会特別研究員への申請を行うこと。
- ⑧ 研究活動に際しては、研究費の原資が公的資金であることを十分認識し、関係する法令等を遵守のうえ、不正行為のないよう効率的に研究を実施すること。また、倫理教育に関する教材の通読・履修を行い、本学において実施する研究倫理教育を受講すること。
- ⑨ 文部科学省 科学技術・学術政策研究所の運営する博士人材データベース (JGRAD) に登録したうえで、毎年情報を入力・更新すること。

> 経費の使途



予算費目	支出内容の例示
研究奨励費 月額16.5万円	選抜学生に支給する生活費相当額
研究費 年額40万円	●選抜学生が研究に必要な設備・備品を新たに購入するための経費（取得価格10万円以上、かつ耐用年数1年以上） ●選抜学生が研究に必要な消耗品等を新たに購入するための経費（設備・備品に該当しない物品、書籍、研究用試薬・材料・消耗品等） ●選抜学生本人の海外・国内出張（資料収集、各種調査、打合せ、研究開発成果発表等）のための旅費（交通費、宿泊費、日当） ●選抜学生の研究への一時的参加者（被験者やフィールドワークの協力者等）のための旅費（交通費、宿泊費、日当） ●選抜学生の研究開発への協力（資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配布・回収、研究資料の収集等）をする者に係る謝金 ●上記の他、選抜学生が自身の研究課題を実施するための経費（印刷費、複写費、現像・焼き付け費、通信費（切手、電話等）、運搬費、専用施設の借料、会議費（会場借料、会議等に伴う飲食代・レセプション代（アルコール類を除く）等）、レンタル費用（コンピュータ、自動車、実験機器・器具等）、ソフトウェアライセンス使用料、機器修理費用、研究成果発表費用（学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用）等）
キャリア開発・育成コンテンツ費	キャリア開発・育成コンテンツ費については、本プロジェクトの計画に基づき、プロジェクトに関わる教員等で企画・実施します。キャリア開発・育成コンテンツ費で想定されている使途は以下のとおりです。 ●海外留学・海外派遣研修の企画・実施のための経費 ●インターンシップの企画・実施のための経費 ●トランスファラブルスキルの習得に関する企画・実施のための経費 ●キャリアパス開発に関する企画・実施のための経費 ●外部専門家等の招へい旅費（交通費、宿泊費、日当）、謝金 ※本学で実施するキャリア開発・育成コンテンツについては次ページをご参照ください。



山梨大学のキャリア開発・育成コンテンツ

1

“世界の人材”になるための 国際体験プロジェクト

海外留学・海外派遣研修の企画・実施

国際的な研究・交流活動などに参加することで、グローバルな視野を獲得すると同時に、自分の立ち位置や価値観、「世界の人材」として自分がやるべき事を主体的に学びます。また、国際的なネットワークへの加入・形成を体験し、グローバル環境に対して親和性を構築します。キャリア像の対象を拡張し、合わせて、文化や宗教の違いなどの多様性について学ぶことも重要な視点とします。

※本事業は単なる学会発表（研究目的）ではなく、海外の研究者・企業等との交流や共同研究、国際的なネットワークへの参加を支援するものです。

2

テーラード型博士課程 インターンシップの構築

インターンシップの企画・実施

前事業でも活用してきたジョブ型研究インターンシップへの登録は引き続き必須としつつ、企業等とのマッチングを考慮した独自のインターンシップを実施します。前期（～2028年）では、後期（2029年～）からの本格的な運用開始に向けて準備を進め、企業等との協議を進めるとともに、前期の間にも試行を実施していく予定です。

3

“地域の中核”になるための トランスファラブルスキル研修

トランスファラブルスキルの習得に 関する企画・実施

トランスファラブルスキルは様々な内容を含み、上述の海外でのプロジェクト参加や、インターンシップ等で得られるものも多くあります。本コンテンツでは、様々な立場と分野を越える重層的な越境体験を通して、企画力、説明能力、コミュニケーション能力、課題解決能力などの汎用性に対する気付きを促し、学生が秘めるトランスファラブルスキルを活性化させます。

4

キャリアパスを考えるための 越境交流会

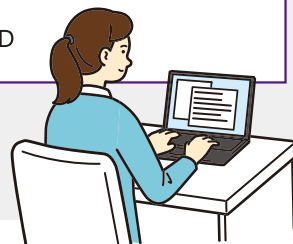
キャリアパス開発に関する企画・実施

博士課程学生が広いキャリアパスを描くためには、学生や教員が囚われがちなアカデミア・大企業至上主義からの脱却を図り、広い視野でキャリアパスを考えられるようにするとともに、受け入れ側の会社等が、イノベーション創出のために博士号取得者の雇用に積極的になることが必要です。前期（～2028年）では、学生側のキャリアパスに関する視野を広げることを目標とします。

5

その他

- ①国内研究機関等への派遣
- ②メンタリング
- ③大学院ブレFD



お問い合わせ

問い合わせ先：山梨大学教学支援部教務企画課

TEL：055-220-8271 メール：inshien-as@yamanashi.ac.jp



令和7年4月1日 発行